



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月5日

上場会社名 株式会社ミクシィ 上場取引所 東  
 コード番号 2121 URL https://mixi.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 弘毅  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 大澤 弘之 (TEL) 03-6897-9500  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	31,022	8.7	6,710	△4.0	5,557	△7.6	5,326	△12.0	3,524	△13.1
2022年3月期第1四半期	28,529	△2.8	6,992	△17.7	6,015	△19.4	6,053	△17.5	4,054	△17.7

※EBITDA=減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 3,548百万円(△10.5%) 2022年3月期第1四半期 3,964百万円(△20.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2023年3月期第1四半期	48	57	47	82
2022年3月期第1四半期	54	04	53	32

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	215,217		185,626		84.9	
2022年3月期	218,056		186,056		84.0	

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 182,766百万円 2022年3月期 183,134百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
2022年3月期	円	銭	円	銭	円	銭
2023年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00	
2023年3月期(予想)	—	55.00	—	55.00	110.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	120,000	1.6	12,500	△38.5	8,500	△47.1	8,500	△50.1	5,000	△51.3	68	91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	78,230,850株	2022年3月期	78,230,850株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	5,677,301株	2022年3月期	5,677,300株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	72,553,549株	2022年3月期1Q	75,033,437株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これらを業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信 (添付資料) P. 4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2022年8月5日に機関投資家及び証券アナリスト向けの電話会議を開催する予定です。その説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	28,529	31,022	8.7%
EBITDA(百万円)	6,992	6,710	△4.0%
営業利益(百万円)	6,015	5,557	△7.6%
経常利益(百万円)	6,053	5,326	△12.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	4,054	3,524	△13.1%

当第1四半期連結累計期間の売上高は31,022百万円(前年同四半期比8.7%増)となりました。また、EBITDAは6,710百万円(前年同四半期比4.0%減)、営業利益は5,557百万円(前年同四半期比7.6%減)、経常利益は5,326百万円(前年同四半期比12.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,524百万円(前年同四半期比13.1%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間から、報告セグメントの名称及び区分方法を変更しており、以下の前年同四半期比較及び分析については、変更後の区分に基づいて記載しております。

また、事業セグメントの利益の測定方法は、減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値(EBITDA)としております。

## ① デジタルエンターテインメント事業

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	22,596	22,478	△0.5%
セグメント利益(百万円)	10,586	10,750	1.5%

デジタルエンターテインメント事業は、スマートデバイス向けゲーム「モンスターストライク」を主力として収益を上げております。当第1四半期連結累計期間におきましては、「モンスターストライク」は、有力IPとのコラボレーションや新たな機能の追加によりMAU及びARPUは想定を上回ったことで、前第1四半期連結累計期間の利益水準を維持しております。また、スマートデバイス向けゲーム「コトダマン」は、大型IPとのコラボレーションを実施したことにより、2022年4月には過去最高売上を達成しております。新規アプリゲームの開発も進めており、収益の安定化及び収益性の向上に取り組んでおります。

この結果、当事業の売上高は22,478百万円(前年同四半期比0.5%減)、セグメント利益は10,750百万円(前年同四半期比1.5%増)となりました。

## ② スポーツ事業

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	4,047	6,350	56.9%
セグメント損失(△)(百万円)	△681	△653	-%

スポーツ事業では、観戦事業、公営競技事業への投資を行っております。観戦事業におきましては、2022年2月よりプロサッカーチーム「FC東京」を運営する東京フットボールクラブ株式会社が新たにグループに加わっております。公営競技事業におきましては、スポーツベッティングサービス「TIPSTAR」及び株式会社チャリ・ロトで、前第1四半期連結累計期間と比較して、オンライン車券販売高が伸びたことで売上を順調に拡大しております。また、「TIPSTAR」は、コストの効率化を進め費用の抑制を図ったことで、利益は改善しております。

この結果、当事業の売上高は6,350百万円(前年同四半期比56.9%増)、セグメント損失は653百万円(前年同四半期はセグメント損失681百万円)となりました。

## ③ ライフスタイル事業

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	1,722	1,847	7.3%
セグメント利益又は損失 (△)(百万円)	159	△173	－%

ライフスタイル事業では、家族向け写真・動画共有アプリ「家族アルバム みてね」、サロンスタッフ直接予約アプリ「minimo」、SNS「mixi」を中心に各種サービスを運営しております。位置情報をいつでもアプリで確認することができる「みてねみまもりGPS」の販売が入学シーズンに伴い好調であったことにより、売上を伸ばしております。また、「みてね」が7か国語に対応し150か国で展開するなど、海外ユーザー数も全体の3割を超えてきており、ユーザー数は順調に増加してきております。

この結果、当事業の売上高は1,847百万円（前年同四半期比7.3%増）、セグメント損失は173百万円（前年同四半期はセグメント利益159百万円）となりました。

## ④ 投資事業

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	162	313	92.8%
セグメント利益又は損失 (△)(百万円)	△39	179	－%

投資事業では、スタートアップやベンチャーキャピタルへの出資を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、当社グループの出資するファンドの損益を取り込んだことと、株式会社アイ・マーキュリーキャピタルの保有する投資有価証券の売却による収益を計上しております。

この結果、当事業の売上高は313百万円（前年同四半期比92.8%増）、セグメント利益は179百万円（前年同四半期はセグメント損失39百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 財政状態

当第1四半期連結累計期間の財政状態は、資産については流動資産が154,383百万円（前連結会計年度末比1,487百万円減少）となり、主な要因としては、法人税等、配当金の支払いによる現預金の減少があげられます。固定資産は60,834百万円（前連結会計年度末比1,350百万円減少）となっております。

負債については、流動負債が18,782百万円（前連結会計年度末比2,065百万円減少）となり、主な要因としては、未払金の減少があげられます。純資産は185,626百万円（前連結会計年度末比430百万円減少）となり、主な要因としては、配当金の支払いによる減少があげられます。

## ② キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比べて2,315百万円減少し、116,117百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は2,147百万円（前年同四半期は4,570百万円の使用）となりました。これは主に、法人税等の支払2,249百万円及び税金等調整前四半期純利益が5,326百万円となったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は1,333百万円（前年同四半期は2,217百万円の使用）となりました。これは主に、貸付金の実行による支出1,120百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は3,434百万円（前年同四半期は11,093百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払3,534百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日の開示時点から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	118,633	116,317
受取手形及び売掛金	11,580	9,623
営業投資有価証券	14,400	15,236
商品	732	585
未収消費税等	456	—
その他	10,106	12,660
貸倒引当金	△39	△40
流動資産合計	155,871	154,383
固定資産		
有形固定資産	15,012	14,842
無形固定資産		
のれん	10,737	10,425
顧客関連資産	6,316	6,146
商標権	2,737	2,664
その他	2,133	2,069
無形固定資産合計	21,924	21,305
投資その他の資産		
投資有価証券	13,458	13,227
繰延税金資産	5,620	5,034
その他	6,186	6,440
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	25,247	24,685
固定資産合計	62,184	60,834
資産合計	218,056	215,217
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	645	850
未払金	11,660	9,319
未払法人税等	2,503	1,481
未払消費税等	—	291
賞与引当金	1,469	648
その他	4,569	6,191
流動負債合計	20,847	18,782
固定負債		
長期借入金	7,477	7,376
繰延税金負債	3,002	2,867
その他	672	565
固定負債合計	11,152	10,809
負債合計	32,000	29,591
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,698	9,698
資本剰余金	9,656	9,656
利益剰余金	181,278	180,811
自己株式	△18,248	△18,248
株主資本合計	182,385	181,919

その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	471	277
為替換算調整勘定	277	570
その他の包括利益累計額合計	749	847
新株予約権	1,506	1,518
非支配株主持分	1,415	1,341
純資産合計	186,056	185,626
負債純資産合計	218,056	215,217

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	28,529	31,022
売上原価	6,547	8,267
売上総利益	21,981	22,754
販売費及び一般管理費	15,965	17,197
営業利益	6,015	5,557
営業外収益		
協賛金収入	26	—
助成金収入	—	31
受取利息	0	1
受取配当金	—	0
為替差益	5	10
その他	27	23
営業外収益合計	59	67
営業外費用		
支払利息	14	15
持分法による投資損失	—	230
その他	7	52
営業外費用合計	21	298
経常利益	6,053	5,326
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除売却損	3	0
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益	6,049	5,326
法人税、住民税及び事業税	1,754	1,347
法人税等調整額	241	528
法人税等合計	1,995	1,876
四半期純利益	4,053	3,449
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△74
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,054	3,524

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	4,053	3,449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△116	△194
為替換算調整勘定	27	292
その他の包括利益合計	△89	98
四半期包括利益	3,964	3,548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,964	3,622
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△73

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,049	5,326
減価償却費	284	391
無形固定資産償却費	426	448
のれん償却額	265	312
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,166	△820
受取利息及び受取配当金	△0	△1
支払利息	14	15
為替差損益(△は益)	△0	△95
持分法による投資損益(△は益)	—	230
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△479	△820
固定資産除売却損益(△は益)	3	0
棚卸資産の増減額(△は増加)	△63	146
売上債権の増減額(△は増加)	△1,391	1,961
未払金の増減額(△は減少)	△1,282	△2,191
未払消費税等の増減額(△は減少)	△676	291
その他の資産の増減額(△は増加)	—	△1,927
その他	△658	1,144
小計	1,319	4,411
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△12	△15
法人税等の支払額	△5,878	△2,249
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,570	2,147
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△377	△621
無形固定資産の取得による支出	△263	△192
無形固定資産の売却による収入	0	—
投資有価証券の取得による支出	△1,547	—
貸付けによる支出	—	△1,120
貸付金の回収による収入	0	640
差入保証金の差入による支出	△37	△51
差入保証金の回収による収入	—	11
その他	7	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,217	△1,333
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200	199
長期借入金の返済による支出	△95	△95
自己株式の取得による支出	△2,311	△0
自己株式取得のための預託金の増減額(△は増加)	△5,212	—
配当金の支払額	△3,690	△3,534
その他	17	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,093	△3,434
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	303
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17,868	△2,315
現金及び現金同等物の期首残高	149,812	118,433
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△112	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	131,831	116,117

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

当社グループは、「投資事業」について、取組の強化により投資規模を拡大するとともに、投資活動を主軸とした当社の持続可能な成長への寄与を目的として、当第1四半期連結会計期間より「投資事業」を主たる事業として独立区分し報告セグメントといたしました。

この変更に伴い、財務的リターンを主たる目的として取得した有価証券に係る損益について、従来、受取配当金を営業外収益、売却損益を特別損益、評価損を特別損失とする方法によっておりましたが、当第1四半期連結累計期間より受取配当金及び売却金額を売上高、売却した有価証券の帳簿価額及び評価損等を売上原価に計上する方法に変更しております。また、投資事業有限責任組合及びそれに類する組合への出資に係る損益について、従来、持分相当額を純額で営業外損益に計上しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より組合ごとに利益の場合は売上高、損失の場合は売上原価に計上する方法に変更しております。なお、連結貸借対照表上、従来、投資その他の資産の投資有価証券に含めて計上しておりました財務的リターンを主たる目的として取得した有価証券は、当第1四半期連結会計期間より流動資産の営業投資有価証券として表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結貸借対照表)

前連結会計年度の連結貸借対照表において、「投資その他の資産」の「投資有価証券」に表示しておりました14,400百万円は、「流動資産」の「営業投資有価証券」に組み替えております。

(四半期連結損益計算書)

前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「受取配当金」10百万円、「営業外費用」の「投資事業組合運用損」35百万円、「特別利益」の「投資有価証券売却益」29百万円を組み替えた結果、「売上高」が162百万円、「売上原価」が158百万円増加しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第1四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「受取利息及び受取配当金」△10百万円、「投資事業組合運用損益(△は益)」35百万円、「投資有価証券売却損益(△は益)」△29百万円、「利息及び配当金の受取額」10百万円及び「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「投資有価証券の取得による支出」△869百万円、「投資有価証券の売却による収入」36百万円、「投資有価証券の分配による収入」235百万円を「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「営業投資有価証券の増減額(△は増加)」△479百万円、「その他」△112百万円に組み替えております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
現金及び預金勘定	131,831百万円	116,317百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	－百万円	△200百万円
現金及び現金同等物	131,831百万円	116,117百万円

## (セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタル エンター テインメ ント事業 (注) 3	スポーツ 事業	ライフス タイル事 業	投資事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益 (注) 3	22,596	4,047	1,722	—	28,366	—	28,366
その他の収益	—	—	—	162	162	—	162
外部顧客への売上高	22,596	4,047	1,722	162	28,529	—	28,529
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	22,596	4,047	1,722	162	28,529	—	28,529
セグメント利益又は損失 (△)	10,586	△681	159	△39	10,024	△4,009	6,015
その他の項目							
減価償却費	92	343	61	0	496	214	710
のれん償却額	—	234	31	—	265	—	265

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△4,009百万円には、報告セグメントの減価償却費△496百万円及びのれん償却額△265百万円並びに各セグメントに配分していない全社費用△3,246百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当社グループの売上高としては、主にデジタルエンターテインメント事業におけるスマートデバイス向けゲームである「モンスターストライク」で構成されております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタル エンター テインメ ント事業 (注) 3	スポーツ 事業	ライフ スタイル事 業	投資事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益 (注) 3	22,478	6,350	1,847	—	30,676	32	30,709
その他の収益	—	—	—	313	313	—	313
外部顧客への売上高	22,478	6,350	1,847	313	30,990	32	31,022
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	22,478	6,350	1,847	313	30,990	32	31,022
セグメント利益又は損失 (△)	10,750	△653	△173	179	10,102	△4,545	5,557
その他の項目							
減価償却費	76	464	70	0	611	228	839
のれん償却額	—	239	72	—	312	—	312

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△4,545百万円には、報告セグメントの減価償却費△611百万円及びのれん償却額△312百万円並びに各セグメントに配分していない全社売上32百万円、全社費用△3,653百万円が含まれております。全社項目は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の項目であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 当社グループの売上高としては、主にデジタルエンターテインメント事業におけるスマートデバイス向けゲームである「モンスターストライク」で構成されております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

投資事業を主要な事業の一つとして取り組むことに伴い、当第1四半期連結会計期間より、「投資事業」を独立区分し、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の名称及び区分方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(新株予約権(ストックオプション)の付与)

当社は、2022年6月28日開催の取締役会において決議した、当社の取締役に対して発行する新株予約権(ストックオプション)について、2022年7月13日に以下のとおり付与しました。

1. 新株予約権の割当対象者及びその人数並びに割り当てる新株予約権の数

対象者	人数	新株予約権
当社取締役(社外取締役を除く)	3名	932個

2. 新株予約権の総数

932個(新株予約権1個当たりの目的となる株式数100株)

上記総数は、割当数の上限であり、引受けの申込みがなされなかった場合等、割り当てる新株予約権の総数が減少した場合は、割り当てる新株予約権の総数をもって発行する新株予約権の総数とする。

3. 新株予約権の目的となる株式の種類及び数

当社普通株式 93,200株

4. 新株予約権の払込金額

金銭の払込みを要しないものとする。

## 5. 割当日

2022年7月13日

## 6. 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

各新株予約権を行使することにより交付を受けることができる株式1株当たりの払込金額を1円とする。

## 7. 新株予約権の権利行使期間

対象者	権利行使期間
当社取締役（社外取締役を除く）	2022年7月14日～2052年7月13日